

各地域懇談会の概要

- ① 北陸・地域懇談会の概要
- ② 北海道・地域懇談会の概要
- ③ 東北・地域懇談会の概要
- ④ 四国・地域懇談会の概要
- ⑤ 東海・地域懇談会の概要

①北陸・地域懇談会の概要

協賛：北陸情報通信協議会

ICTを活用した街づくりとグローバル展開に関する懇談会 北陸・地域懇談会

平成24年4月5日(木)
15時00分～17時00分
ポルファートとやま

次 第

- 1 開会
- 2 岡座長挨拶
- 3 議事
 - (1) ICTを活用した新たな街づくりの基本的考え方について
 - (2) 北陸地域におけるICTを活用した街づくりに関する取組の現状と課題（プレゼンテーション）
 - ① 森 雅志 富山県富山市長
 - ② 金岡 克己 (株) インテック代表取締役社長
 - ③ 饗庭 達也 (社) 石川県情報システム工業会会長
 - ④ 山西 潤一 富山大学教授
 - ⑤ 田崎 健治 福井ケーブルテレビ(株)代表取締役社長
 - (3) フリーディスカッション
- 4 閉会

⑥上記(1)・(2)を踏まえ、
フリーディスカッション

●総務省より、
「ICTを活用した新たな街づくりの基本的考え方」
について説明

①森・富山市長より、
「コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築」について、住民基本台帳情報等を展開した地理情報システム(GIS)や富山ライトレール等で利用できるICカード等を活用したコンパクトシティの実現に向けた取組の紹介

②金岡・インテック社長より、
「インテックの取組みのご紹介」について、データセンターのネットワークや、2020年の社会とICTに関するビジョン等の紹介

③饗場・石川県情報システム工業会会長より、
「石川県情報システムご紹介」について、データの「地産地商」を進め、観光データベースを検討する、地域活性化プロジェクト等の紹介

④山西・富山大学教授より、
「ICTを活用した街づくり-地域版コミュニティ・オブ・プラクティスを育てるインターネット市民塾-」について、富山インターネット市民塾やラーニング・シティ構想の紹介

⑤田崎・福井ケーブルテレビ社長より、
「ふくいを中心に発進する新しい参加型まちづくり」について、メッシュWi-FiやメディアHUBによるICTを活用した協働のまちづくりの提案・紹介

②北海道・地域懇談会の概要

協賛：北海道テレコム懇談会

ICTを活用した街づくりとグローバル展開に関する懇談会 北海道・地域懇談会

平成24年4月25日(水)
13時30分～15時30分
ホールスター札幌2階セレナード

次 第

1 開会

2 松崎総務副大臣挨拶

3 議事

- (1) ICTを活用した新たな街づくりの基本的考え方について
- (2) 北海道におけるICTを活用した街づくりに関する取組の現状と課題（プレゼンテーション）

- ① 近藤 龍夫 北海道経済連合会会長
- ② 濱田 康行 札幌国際大学学長
- ③ 松田 一敬 合同会社SARR代表執行役員
- ④ 山本 強 北海道大学教授 産学連携本部副本部長
- ⑤ 渡辺 孝一 岩見沢市長

(3) フリーディスカッション

4 閉会

⑥上記(1)・(2)を踏まえ、
フリーディスカッション

●総務省より、

「ICTを活用した新たな街づくりの基本的考え方」
について説明

①近藤・北海道経済連合会会長より、

北海道府フード・コンプレックス国際戦略総合特区
(フード特区)の取組とICTへ寄せる期待等について
紹介

②濱田・札幌国際大学学長より、

「住みよい街、最後まで住める街」づくりにおける福祉
水準の維持、インフラの老朽化、新産業の希薄化等
の課題解決におけるICTの役割等について紹介

③松田・SARR代表執行役員より、

ライフスタイルの多様化、モバイル環境の整備、クラウド
やテレワーク等によるICTによる起業環境の変化等
について紹介

④山本・北海道大学教授より、

スマートフォンを活用して観光・災害・食文化情報等
を提供するGreenAR事業や、食と農業における情
報活用の在り方等について紹介

⑤渡辺・岩見沢市長より、

教育・医療・安全安心分野における取組、遠隔健康
相談等の官民協働型サービスや地域気象情報の
提供等、住民生活の質的向上と地域経済の活性
化のための各種取組等について紹介

街づくり関係者による発表資料については、別添参照

ICTを活用した街づくりとグローバル展開に関する懇談会 東北・地域懇談会

平成24年5月10日(木)
15時00分～17時00分
総務省東北総合通信局2階大会議室

次 第

- 1 開会
- 2 森田総務大臣政務官挨拶
- 3 岡座長挨拶
- 4 議事
 - (1) ICTを活用した新たな街づくりの基本的考え方について
 - (2) 東北地域におけるICTを活用した街づくりに関する取組の現状と課題(プレゼンテーション)
 - ① 柴田 義孝 岩手県立大学副学長
 - ② 橋浦 隆一 仙台商工会議所青年部元会長
 - ③ 佐々木 一十郎 名取市長
 - ④ 鈴木 重男 葛巻町長
 - ⑤ 根元 義章 東北大学名誉教授
 - (3) フリーディスカッション
- 5 閉会

⑥上記(1)・(2)①～⑤を踏まえ、
フリーディスカッション

●総務省より、

「ICTを活用した新たな街づくりの基本的考え方」
について説明

①柴田・岩手県立大学副学長より、

東日本大震災における通信状況、必要とされていた情報、健康管理支援や産直向け業務支援システム等について紹介

②橋浦・仙台商工会議所青年部元会長より、

災害時の取組や、地域特性にあわせた紙・デジタルサイネージなどを組み合わせた情報共有の必要性等について紹介

③佐々木・名取市長より、

東日本大震災の被害の状況、稼働しなかった防災行政無線システム、実際に使えた情報伝達手段等について紹介

④鈴木・葛巻町長より、

災害に強く安全で安心して暮らせるための情報通信基盤を一体的に整備する取組と今後の展開等について紹介

⑤根元・東北大学名誉教授より、

東北地域における課題、地域性や情報共有できる場の必要性、国・自治体、大学・研究機関、産業界の3者が連携した街づくり等について紹介

ICTを活用した街づくりとグローバル展開に関する懇談会 四国・地域懇談会

平成24年5月23日(水)
14時00分～16時00分
松山市子規記念博物館4階講堂

次 第

- 1 開会
- 2 松崎総務副大臣挨拶
- 3 岡座長挨拶
- 4 議事
 - (1) ICTを活用した新たな街づくりの基本的考え方について
 - (2) 四国地域におけるICTを活用した街づくりに関する取組の現状と課題(プレゼンテーション)
 - ① 三木 義久 四国経済連合会専務理事
 - ② 小林 真也 愛媛大学大学院教授
 - ③ 山口 最丈 愛媛県松山市副市長
 - ④ 神山 充雅 (株)愛媛CATV代表取締役社長
 - ⑤ 宮崎 光彦 道後温泉誇れるまちづくり推進協議会会長
 - (3) フリーディスカッション
- 5 閉会

⑥上記(1)・(2)を踏まえ、
フリーディスカッション

●総務省より、
「ICTを活用した新たな街づくりの基本的考え方」
について説明

①三木・四国経済連合会専務理事より、
「e-Knowledgeコンソーシアム四国」におけるeラー
ニング等の取組と四国歴史文化道の情報発信等
について紹介

②小林・愛媛大学大学院教授より、
四国の先進性としての高齢化と、それに対する地域
の活性化のためのICT人材育成の重要性等につ
いて紹介

③山口・松山市副市長より、
まちなか情報発信端末「タウンボード」、電車/バス
総合情報案内システムや教育分野における取組等
について紹介

④神山・愛媛CATV代表取締役社長より、
生産者による産直市場に関するPRや、コミュニ
ティチャンネルのデータ放送画面を活用したスマートテ
レビ実験等について紹介

⑤宮崎・道後温泉誇れるまちづくり推進協議会
会長より、
ICカードによる交通と観光施設等の連携、プッシュ
型観光情報サービスやスマートフォンによるGPS・
AR技術を活用した観光スポット提供等について紹介

街づくり関係者による発表資料については、別添参照

ICTを活用した街づくりとグローバル展開に関する懇談会 東海・地域懇談会

平成24年5月30日(水)
13時30分～15時30分
産業技術記念館1階大ホール

次 第

- 1 開会
- 2 松崎総務副大臣挨拶
- 3 小宮山座長代理挨拶
- 4 議事

(1) 東海地域におけるICTを活用した街づくりに関する取組 の現状と課題 (プレゼンテーション)

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| ① 太田 稔彦 | 愛知県豊田市長 |
| ② 河野 義信 | 一般社団法人中部経済連合会産業振興部長 |
| ③ 林 良嗣 | 名古屋大学交通・都市国際研究センター長・
同 大学院環境学研究科教授 |
| ④ 森川 高行 | 名古屋大学大学院環境学研究科教授 |
| ⑤ 渡邊 浩之 | トヨタ自動車(株)技監 |
| ⑥ 時津 直樹 | (株)IIC代表取締役社長 |

(2) フリーディスカッション

- 5 閉会

⑦上記(1)を踏まえ、
フリーディスカッション

①太田・豊田市長より、

多核ネットワーク型の都市構造、環境モデル都市「ハイブリッド・シティ とよた」のコンセプトや内容等について紹介

②河野・中部経済連合会産業振興部長より、

東海・東南海・南海地震の減災に向けた取組、フューチャースクールの情報通信基盤等の災害時における活用イメージ等について紹介

③林・名古屋大学交通・都市国際研究センター長より、

土地利用を凝縮し、連携・共助のできる集落形成(スマートシュリンク)の実現に向けたICTの活用アイデア等について紹介

④森川・名古屋大学大学院教授より、

プローブ情報の活用事例、スマートフォン等からの住民からの情報(アクティブプローブ)の活用アイデア等について紹介

⑤渡邊・トヨタ自動車技監より、

新たな車の価値(情報端末機能、エネルギー供給機能)、交通情報の共通プラットフォームの概要等について紹介

⑥時津・IIC代表取締役社長より、

自動車を中心としたICTプラットフォーム(自動車クラウド)、プローブ情報の活用事例、救急医療の支援等について紹介